

News Release

2025. 11. 28

阪急阪神ホールディングス株式会社

広報室 広報部

〒530-0012

大阪市北区芝田一丁目16番1号

Tel:06-6373-5092 Fax:06-6373-5670

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

コーポレートベンチャーキャピタルファンド
「阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合」が
トマト栽培を中心にアグリ事業を展開する「ゼブラグリーNS」に出資しました

つなぐのは、食の未来。



阪急阪神ホールディングスが2021年4月に設立したコーポレートベンチャーキャピタルファンド「阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」）」が、「株式会社ゼブラグリーNS」に出資しましたのでお知らせします。

ゼブラグリーNS社はトマトを中心としたおいしくて、からだに良い野菜を、品種の選定から生産、流通、販売まで一気通貫で手掛けています。IoT等の先端技術を活用するスマート農業に対応した高度環境制御ハウスでの安定生産、周年供給を可能としているほか、さまざまな品種の選定や栽培技術の研究・開発を進め、直近ではレタスの栽培を本格的に開始するなどしています。

当社グループでは、2019年より農業事業に参入して高糖度トマトの生産・販売をしており、2024年12月に同社と農業事業における連携協定を締結しました。これまでに、同社の設備運営や品種の選定、栽培方法、流通などの豊富なノウハウを活用し、高度環境制御技術の導入や機能性の高い新品種の定植を始めるなど、新たな取組を推し進めており、農業ビジネスの安定化ならびに持続可能な農業事業を推し進めていきます。

当社グループでは、これからも本ファンドからの出資等を通じて、スタートアップ企業をはじめとする外部の優れた知見や先端技術を取り入れ、当社グループとの事業シナジーの創出や新しい事業の創造を推進してまいります。

以上

ご参考

■株式会社ゼブラグリーンの概要

所 在 地	兵庫県加古川市志方町原 759-1 【参考】農場：ゼブラファーム加古川、リブリーフ（兵庫県加古川市）、 ゼブラファーム能勢天王（大阪府豊能郡能勢町）、ゼブラファーム姫路（兵庫県姫路市）
代 表 者	柿坪 俊彦（かきつぼ としひこ）
設 立 日	2021 年 11 月
事 業 内 容	・ アグリ事業（農産物の生産、販売、加工、農地の管理） ・ 農業参入企業へのコンサルティング（人材育成・販売支援等） ・ 健康とおいしさを両立する研究開発
特 徴	「Seed to Health」をブランドコンセプトに、トマト栽培を中心としたアグリ事業を展開し、品種の選定から生産、流通、販売までを一気通貫で手掛けています。 主力商品である「たまとま」は抗酸化作用があるとされるリコピンやうまみのもととなるグルタミン酸が豊富に含まれており、調理しやすいことが特徴です。

■阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合の概要

ファンド名称	阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合
ファンド規模	30 億円
設 立 日	2021 年 4 月 1 日
運 用 期 間	10 年
運 営 会 社	SBI インベストメント株式会社
主な投資領域	☐ 当社グループの DX プロジェクトに付随するもの ☐ 観光・インバウンドに付随するもの ☐ 新たなコンテンツ（エンタメ・旅行等）の開発に寄与するもの ☐ 生産性向上（業務効率化）に寄与するもの ☐ 中長期を見据えた新たな事業機会を開拓するもの ● ヘルスケア・ウェルビーイング ● 生活関連サービス （当社グループが現時点で手掛けていない生活に関わるサービス） ● SDGs・沿線価値向上 （沿線エリアにおける消費・移住・移動・雇用等の創出を通じた人口減少・高齢化対策、地域経済活性化等につながるサービス）

阪急阪神ホールディングス株式会社

取締役執行役員 グループ開発室長 上田 靖（うえだ やすし）

日本の農業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足に加え、気候変動に伴う品質や収量の不安定化リスク、海外の事業者との価格競争など、さまざまな要因により厳しさを増しています。

また、このような状況の中で、環境に配慮した持続可能な農業生産を維持し、食糧自給率の向上を図っていくことは喫緊の課題となっています。

当社では、ゼブラグリーンの有する農業運営の知見とノウハウを取り入れ、持続可能な農業事業に取り組むとともに、農業事業を通じた自治体との連携の強化等により、さらに豊かなまちづくりの実現を目指してまいります。

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

以 上

阪急阪神東宝グループ